

第62回理事会（平成14年度第1回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 平成14年6月15日（土）13：10～16：56
2. 場 所 神奈川県社会福祉会館 4階 第1研修室
3. 出席理事 会長：河野 洋平、副会長：廣瀬 稔、古郡 敬一、野地 澄雄、
専務理事：山田 隆、常務理事：片 忠夫、渡辺 三郎、菊地富士夫、
越前谷芳隆、
理事：早川 博基、柴田 秀一、上田 英之、百海 廷、本田 衛義、
徳本 進、堀 祐樹、長久保巖、斎藤 幸雄、岡本 洋一、
木村 徳善、菊池 勇二、清水 忠、栗田 謙悟、平沢 幸一、
本宮 敏宏 （現理事数21名）
うち委任：河野 洋平、廣瀬 稔、古郡 敬一、本宮 敏宏（4名）
出席監事 井駒 利一、徳田 盾夫
出席参与 なし
4. 議長選出 山田専務理事を指名
5. 議事録署名人選出 斎藤理事、木村理事を選出
6. 書記 守谷紀幸広報委員を指名
7. 議 事

1) 佐々木SAJ理事紹介

2007年のFIS世界選手権を札幌で開催することが決定したので、これに向けて全力投球したいとのあいさつがあった。

2) 総務本部関係

報告事項に入る前に、越前谷事務局長から評議員会と同日に新理事による会議を2回開催したが、これを理事会とすると、今回は第3回となるのではないかとの意見があり、協議の結果、14年度の理事会は今回を第1回とし、通算は第62回理事会とすることとした。

(1) 報告事項

片総務本部長から、冒頭理事会提出の書類の書式について統一したい旨の発言がありました承され、続いて、次の事項について報告があった。

①慶弔関係

なし

②決算状況

上田理事から、まだ一部決算報告がすんでいないものもあるが、監査会までには、終了させる予定である。概ね808万7,572円の黒字の見込みであるとの報告があった。

③各種委員会

越前谷理事から、ハンディキャップ委員会に平成14年度の宝くじ助成金109万6,000円が内定したとの連絡があったとの報告があった。

④その他

上田理事から、財団法人の資産1億円の預金のうち6千万円の定期預金が満期を迎えるので、ペイオフの関係から分散を図った。預金先は、UFJ銀行、横浜銀行、静岡銀行、神奈川銀行、駿河銀行、みずほアセット信託銀行で、来年度は普通預金も預託先の分散を検討しているとの報告があった。

(2) 審議事項

続いて、片総務本部長から次の事項について審議されたい旨提案があり、以下のとおり決定された。

①総務本部業務分担について

別添「総務本部業務と分担」のとおり了承した。（競技本部セクレタリーの「担当」は削除）

②SAK組織について

別添「財団法人 神奈川県スキー連盟 組織機構図」のとおり了承した。また、専門員については、別添「専門員推薦表」にあるとおり、すべて委員会方式とすることとした。

③規約規程について

別添「規約・規程集」で、若干の文言訂正を要する部分について再検討（法定事務処理規程第4条及び第5条）するほかは、本規約規程のとおり改正することです承した。

④評議員会について

本田理事から、7月22日の決算の評議員会に向けた資料の作成につき説明があり、別添「第7回定例評議員会資料作成担当表」のとおり了承した。7月2日に最終稿出稿とのことで期限厳守されたい旨依頼があった。

⑤その他

ア 職員の給与について

上田理事から、事務局職員のパート就労の単価等について説明があり、賞与も含め従前どおりとすることで異議なく承認されそのように決定した。

イ 理事及び監事就任者に対する承諾書等の書類提出について

所定の書類を配付したので、後日提出されたい旨依頼があった。

ウ 協賛会費・大会冠料について

平沢理事から、別添「協賛会費・大会冠料内訳」のとおり、同会費等の未納が3件あるが今後の取り扱いを審議されたいとの提案があり、収入として見込みのないものを未収金計上しておく必要はないということに決定した。

⑥会計処理等について

上田会計担当理事から、新任理事に対して、会計処理の概要等について別添「SAKセミナー理事会」のとおりセミナーが行われた。

3) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地競技本部長から、担当理事の紹介があり、平沢理事がノルディックとセクレタリーを兼務し、本宮理事がアルペン、栗田理事がモーグルを担当とのことで、詳細は専門委員が決まってから逐次検討したいとのことであった。また、企画運営に関して特にアルペンは総務・教育両本部から何人か入ってもらいたいとのことで、教育本部から専門員を2名借り受けたいとのことであったが、人選は後日おこなうこととした。さらに、モーグルの正式競技化が決まれば、アルペンとノルディックの枠を削ってでも実現させたいとの情報提供があった。

4) 教育本部関係

(2) 報告事項

渡辺教育本部長から、別添の教育本部報告の説明があり、次の行事の参考に生かしていきたいとのことであった。

次に、木村、菊池、清水理事の紹介があり、詳細な行事の振り分けは専門員が決まってから検討したいとのことで、和を大切にしていきたいとの決意が述べられた。

5) その他

渡辺教育本部長から、功労者の推薦について、従来教育本部が担当してきたが、本来総務本部で担当すべき事項なのでそう願いたいとの申し出があり、了承された。

次に、野地副会長（旧総務理事）から、別添、準指受験者の実態・ニーズアンケート調査の結果の概要について報告があり、できることについては改善されたい旨の要望があった。

続いて、生駒監事から、行事報告の内容をチェックしたが、清算報告書、清算確認書、行事報告書があるべきなのに添付されていない例があるので、確実に提出されたい。作業報告書で、作業実施日が特定できない事例があるので、備考欄に作業日を記入すること。また、領収印のない物が散見されるので、確実に添付されたい。財産目録に記載されている物品については、監査会の当日確認するが、大きなものは所在をはっきり確認しておいてもらいたい。徳田監事からは、領収書がコピーのものがあつたが、やもえない場合は、理由を記載しておいてもらいたい旨の意見が述べられ、再度チェックすることとした。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成14年 月 日

議 長

議事録署名人

印

議事録署名人

印